みよし　みき
三好　美紀 准教授　博士（健康科学）　管理栄養士　大阪府八尾市出身

大学院健康科学研究科
保健・医療・福祉政策システム領域　**国際地域栄養研究室**

【担当科目】
公衆栄養学、地域栄養活動論、栄養アセスメント論、食事摂取基準論
公衆栄養学実習、公衆栄養学臨地実習、総合演習ほか
（大学院）国際保健学、保健・医療・福祉学研究特論

【主な研究テーマ】
・地域における栄養評価と食生活支援に関する調査研究
・栄養転換期にある途上国支援に係る研究
（例：ラオス、ベトナム、パプアニューギニア）

【2019年度　卒業研究テーマ（第9期生）】

- 在日外国人の（在日前後の）食生活、食環境および食意識、ボディイメージの変化
- 幼少期の食生活が現在の嗜好に及ぼす影響
- 過去の食習慣・生活習慣が現在の身体状況と健康意識に与える影響

【高校生へのメッセージ】
私が栄養士を目指したのは中学生のときにNHKで放映されたアフリカの飢餓問題のドキュメンタリーがきっかけでした。皆さんも様々な理由で管理栄養士を目指し始めたと思います。
青森県立保健大学栄養学科で共に学んで、グローバルな視野を持って地域の健康・栄養問題に貢献できる管理栄養士を目指しませんか？

【プロフィール】
＜学歴＞
1994年3月　大阪市立大学生活科学部食品栄養学科　卒業（学位：生活科学学士）
1996年3月　神戸大学大学院国際協力研究科国際開発政策専攻　修了（学位：経済学修士）
1999年6月　London School of Hygiene and Tropical Medicine　修了（学位：M.Phil.）
2011年4月　青森県立保健大学大学院健康科学研究科　博士後期課程　（学位：博士（健康科学））
～2015年3月　論文題目“**Nutritional Status of Children and their Mothers, and its Determinants in Urban Capital and Rural Highland in Papua New Guinea**”
＜職歴＞
1999年8月　国立国際医療センター研究所適正技術開発研究部ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ評価研究室　流動研究員
2002年7/8月　JICA開発調査「セネガル国子どもの生活環境改善調査」短期専門家（保健・栄養）
2002年9月　東京大学大学院医学系研究科 国際保健学専攻 国際保健計画学教室 助手
2005年4月　独）国立健康・栄養研究所（現　医薬基盤・健康・栄養研究所国立健康・栄養研究所）にて特別研究員(~H19.12)、研究員(~H23.3)、室長(~H30.3)として国際協力・連携事業を担当
2018年4月より現職

【所属学会】　日本国際保健医療学会、日本栄養改善学会、日本栄養・食糧学会、日本公衆衛生学会、日本疫学会、The Nutrition Society(UK)

【社会活動】　(公社)日本栄養士会国際交流委員会委員、日本栄養改善学会国際活動推進委員会委員
第22回国際栄養学会（ICN2021）組織委員会委員および広報副委員長